

新製品 新技術紹介

『ノーコード開発ツール“RADEN(ラデン)”Ver4』

株式会社KIT

代表取締役

車井 弘平

〒460-0026 名古屋市中区伊勢山2丁目11番15号

TEL:052-737-7251

ASビル金山

URL:<https://www.kit-japan.co.jp/>



【はじめに】

令和3年度名古屋市工業技術グランプリにおいて奨励賞を受賞することが出来ました。ソフトウェア製品というジャンルで受賞できたことを感謝しております。また、今後の情報システム産業の要求に応えられるように更なる技術アップを図っていきたくと考えています。

【会社概要】

平成16年に情報システム会社として創業しソフトウェア開発を提供するとともにユーザーの内製化によるソフトウェア開発を実現するツールとしてRADENを開発、及び、販売を行ってきました。

【開発の背景】

ソフトウェア開発は、専門性が高く誰もが容易に製作することができません。専門のシステムエンジニアやプログラマーをユーザー内で確保することは難しく専門会社への委託が前提となっています。結果、開発の長期化と高コストを招いています。また、業務変更に伴うシステム変更も開発期間やコストの観点から自由に行うことが出来ないのが実状です。

システム開発をタイムリーに低コストで実現する方法は、ユーザー自身の手で内製化を実現することが必要です。RADENは、内製化を実現する

為に専門性を排除し誰もが容易に開発できるツールとして開発しました。

【技術の概要】

RADENは、プログラムコードを作成することなくユーザーが求めるソフトウェアを直観的に製作できるようにしました。画面・帳票に各種プログラム部品を配置し、動作やデータ構造を定義するだけでソフトウェアが完成します。特長は次の5つです。

- (1)画面・帳票中心の開発
- (2)プログラムコードの排除(ノーコード)
- (3)動作確認しながらソフトウェアの改善(トライ&エラー)
- (4)標準化(属人化の排除)
- (5)仕様書の自動出力(維持管理)

操作性を重視し作業者の設定項目を減らすことで自由度を確保しながら

ソフトウェア開発できます。

主な用途は、基幹システムを補完するソフトウェアに効果を発揮します。基幹システムでは実現できない、処理範囲が少なくシステム化に適さないもの、費用対効果が小さいもの、また、業務をシステム化して標準化したものが対象になります。

・IoTの見える化

・タブレット利用の品質管理

・実績管理

など、個別仕様が多くパッケージ導入が困難なものが最適です。

【今後の展開】

DX(デジタルトランスフォーメーション)を実現する為に必要なキーワードは、システム開発を「必要な機能を・早く・安く」実現することです。この問題を解決する方法としてユーザーによる内製化が必要です。

RADENは、それに応えられるように製品のブラッシュアップを図り、より簡単に、より早く、確実な維持管理ができるシステム作りに貢献できるように推進いたします。

